

一 般 質 問

令和3年6月17日（木）

16番 山 田 敏 人 議 員

1. 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について

現在、北海道には緊急事態宣言が延長され、コロナの収束が見通せない中、感染力の強いウイルスの変異株が確認されています。そのような状況にあって、石狩市においても医療従事者へ先行してワクチン接種が始まり、5月からは80歳以上の高齢者から順に70歳以上の方へのワクチン接種が進んでいます。国では、高齢者へのワクチン接種を7月中に完了するよう各自治体に要請しています。秋には、接種予定者の接種を完了したいと報道されています。ワクチン接種を加速して多くの方が接種を行い集団免疫を獲得することで、コロナの封じ込めをして日常の生活を取り戻すことを期待しているところです。

そこで新型コロナウイルス感染症のワクチン対策について伺います。

- ①石狩市のワクチン供給量の現状と接種完了の見通しについて
- ②感染リスクのある高齢者施設職員、保育や福祉施設職員、廃棄物収集員などへの優先接種について
- ③段階的に接種年齢を引き下げているが、一般の方の接種段階が来たときの混雑防止対策について
- ④接種人数が増えると予約のキャンセルもありますが、その対応と余ったワクチンの処理について

2. 新型コロナウイルスの経済対策について

政府は、コロナの影響で生活困窮世帯に対し、新たな支援金制度を創設する方針を固めています。国や北海道もGo To Eatやどうみん割などの地域経済対策を考えているところです。石狩市も、国の補助金を活用した様々なコロナ経済対策を実施してきましたが、緊急事態宣言終了後の更なる市としての新たなコロナ経済対策の考えについて伺います。

3. 狂犬病の予防接種について

飼い犬には年1回狂犬病の予防接種が義務付けられており、毎年、本市においても集中的に4月から5月にかけて、動物病院や地域を巡回して予防接種を行っています。昨年からはコロナの影響により厚田区、浜益区では実施されましたが、旧石狩市内の巡回接種が中止となり市内動物病院にて接種を行うこととなりました。そこで、何点か伺います。

- ①現在畜犬登録されている頭数と接種率について伺います。
- ②コロナ収束後は、従前どおりの巡回接種を行うのか、また、これまでの巡回接種場所を工夫し増やす考えはあるのか伺います。

③巡回接種の経費について獣医師等に委託されていることと思いますが、その経費について伺います。

4. 新港地域における都市計画の見直しについて

本年4月に石狩湾新港地域にコストコが開店し、連日多くの人を訪れ賑わっているところです。また、近隣にはスーパーホテルも開業しており、この周辺は注目されている地区と思われます。周りに未利用の分譲地も存在していますが、今後更なる発展が期待できる地区であると認識しているところから、これをチャンスと捉え、周辺未分譲地への企業進出を促進するため、現在の都市計画の見直しも含めた、商業用地としての土地利用を図るべきと考えますが、市の考えを伺います。

5. 新港地区の北海道漁港実験施設の利活用について

この施設は、北海道内の港を整備するにあたり、海流による砂の堆積状況などを実験検証する施設でありましたが、最近ではコンピュータによる解析ができるようになったことから、役目を終え休止している施設であります。施設は建設から20年以上経過していますが概観、構造ともしっかりしており、また内部は大空間があり、様々な用途に使うことが可能であることから活用方法を工夫して、市として所有者である道に対し、利活用を働きかけることはできないか伺います。

6. 石狩市のエネルギー施策について

現在、新型コロナウイルスの感染拡大により、経済状況は大変厳しいものがありますが、冷え込んだ経済の復興と地球温暖化問題の解決を同時に目指すグリーン・リカバリーが世界で広がろうとしています。今後、コロナ禍からの回復期において、エネルギー需要の増大が見込まれます。リーマンショック後と同じ轍を踏まないためにも、再生可能エネルギーの普及を進め、脱炭素技術開発への投資を増やす、グリーン・リカバリーによって、環境と経済の好循環をもたらすことが重要と考えます。そこで、伺います。

①昨年の12月にも言及されていましたが、再生可能エネルギーである洋上風力発電促進区域の指定に関して現在の状況を伺います。

②環境先進都市でもある本市は、グリーン・リカバリーという観点から地球温暖化対策に先進的に取り組み、持続可能なまちづくりを推進すべきと考えますが、環境教育やまちづくり基金等の環境政策的な観点から、グリーン・リカバリーに対する現状での市の考えを伺います。

7. データセンターの誘致について

政府の成長戦略で、通信サービスの利用拡大を見据えて、地方都市を中心に電子情報を処理・保存するインターネットサーバーなどを集めたデータセンターを整備する方向で進んでいます。国内のデータセンターは、東京・大阪周辺に8割以上が集中しているため政府は、災害時のデータ保管の安全性、通信事業の継続性を高めるために中小規模の拠点を

10 箇所程度検討し、工業団地の空きスペースなどを想定していることから、本市も可能性を秘めていることから誘致に名乗りをあげる考えはないか伺います。

8. 花川通りの開通について

花川通りの延伸について、石狩湾新港へのアクセスの向上や混雑の解消に向け早期の開通を期待する声も多くあります。着実に整備を進めていくことが必要と考えますが、計画の進捗状況と工事完了見込みについて伺います。

9. 花川北地区の公園樹木の整理伐採後の植樹について

花川北地区が開発されて約 50 年が経過し、団地造成、公園整備が行われてきましたが、公園の樹木もかなり生育し密生したことにより、これまで密生した樹木の伐採、剪定を行っていますが、一部の公園では伐採したあと、新たに桜を植樹し市民に安らぎを与える樹木を植えて欲しいという要望もあるところです。公園の樹木伐採後の植樹について伺います。

10. 石狩市花川中央包括支援センターについて

地域包括支援センターは、介護・保健・福祉などの側面から高齢者を支える相談窓口であり、介護サービスや介護予防サービス等のアドバイスができる専門職員の存在は、高齢になっても地域で安心して生活できる環境整備には、欠かすことのできない人材であると認識しています。今年度、高齢者人口の増加や総合相談内容の複雑化に伴い、石狩市花川中央包括支援センターが石狩病院前の老人福祉施設内にオープンしました。

- ①オープンして2カ月が過ぎましたが、改めて花川中央包括支援センターの位置づけや役割についてどのように捉えているのか伺います。
- ②他センターとの連携について、コロナ禍における課題や今後の高齢者福祉における地域包括支援センターの役割について、どのように考えられているのか伺います。

11. 自治体のデジタル化について

新型コロナウイルス感染拡大で新たな生活様式が模索される中、各自治体で市民サービスの手続きをデジタル化する取組みが進んでいます。

- ①本市におきましても3月からLINE機能のチャットボットのサービスが開始されたことを承知していますが、これまでどのようなサービスがあったのか、また、市民からのチャットボットを使った情報提供があったのかなど、運用情報の状況について伺います。
- ②今後のデジタル時代を見据えた、押印の廃止や行政手続きのオンライン化に向けた現在の取組み状況について伺います。

12. 修学旅行の中止に伴うキャンセル料について

コロナにより、石狩に限らず学校の修学旅行が中止となり、計画していた旅行のキャンセル料が発生していると聞いています。その今年度の額について伺います。

13番 金谷 聡 議員

1. 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について

- ①ワクチン接種の対象年齢下限が16歳から12歳に引き下げられましたが、新たに接種対象となった12歳から15歳までの市民へのワクチン接種を市ではどのように計画されているのか伺います。
- ②石狩市でも医療従事者及び高齢者から優先してワクチン接種が実施されていますし、その後には、基礎疾患のある市民や高齢者施設に携わる介護職員にもワクチン接種が計画されています。その次の段階として、日常生活の維持に必要な働き手、例えば警察官、教員に加え、交通、電気、ガス、水道などの生活インフラ関連業や、食品製造やスーパーなどの生活必需品関連業に携わる方たち、いわゆる「エッセンシャルワーカー」にも優先してワクチン接種を実施している自治体もあります。石狩市においてもこういった「エッセンシャルワーカー」に優先してワクチン接種を実施すべきと考えますが、市の考えを伺います。
- ③一般市民へのワクチン接種クーポン券の発送は、いつ頃を予定しているのか伺います。

2. コロナ禍におけるリモート授業の予行練習について

道内で第4波といわれる新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、いまだ緊急事態宣言が解除されていない状況下において、市民生活にも幅広い制限が課せられています。今後更なる感染拡大が起きた場合に備え、自宅に居ながらにして授業を受けることができるよう、GIGA スクール構想に伴い令和2年度に配備されたタブレット端末を活用したリモート授業の予行練習が必要になるのではないのでしょうか。リモート授業の際、教師の授業の進め方、学習者の理解度の確認方法、各家庭での実際の通信状況の把握等、確認しておくべき事項は少なくありません。リモート授業の予行練習に対する市の考えと計画を伺います。

3. コロナ禍における図書館の在り方について

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、緊急事態宣言下において、基本的に市内の公共施設は一律休館となっています。石狩市民図書館も例外ではありません。しかし、外出を避け自宅で過ごす時間が多い今こそ、市民が図書に親しむ絶好の機会ではないのでしょうか。そこで行政のデジタル化にも合致し、感染予防の観点からも人と人との接触を避け図書を閲覧可能な「電子図書館」を導入すべきと考えますが、市の考えを伺います。

4. コロナ禍における芸術家支援策について

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、中小企業や飲食店、建設業者等には経済的支援策が実施されていますが、発表の機会が奪われ経済的に大きな痛手を被っている個人で活動されている芸術家には、これまでのところ特に経済的支援策が打ち出されていません。個人で活動されている芸術家の方への支援策について市の考えを伺います。

5. マクンベツ湿原の案内看板について

毎年4月中旬から下旬にかけて見ごたえのあるミズバショウ群生地として知られるマクンベツ湿原は、石狩市が誇る素晴らしい観光スポットの一つです。道道44号石狩手稲線を手稲方面から走行し石狩市に入ったところに「ミズバショウ群生地(マクンベツ湿原)11.5Km」という案内看板が建っています。また、類似の案内看板が近隣自治体から市内に至る主要道路にあと3箇所建っていますが、肝心のマクンベツ湿原付近には同様の案内看板は建っていません。例えば国道231号線を北上し、石狩川河口橋を渡る手前の「ここを右折したらマクンベツ湿原」という交差点手前にも建っていません。また、最寄りの駐車場へと誘導する案内看板もないため、初めて来訪された方が離れた場所に駐車してしまい、結構な距離を歩く羽目になったという声も聞きます。折角設置されている既存4箇所の案内看板を活かす為、現地近くにも案内看板を設置すべきと考えますが、市の考えを伺います。

5番 松 本 喜久枝 議員

1. 新型コロナウイルス感染対策と財政支援など市民に寄り添った市の対応について

- ①感染拡大防止と危機意識の向上を図るためにも、市内でどれくらいの感染者が発生しているかを把握し、市民に周知するよう求めるが市の考えを伺う。
- ②ワクチン接種状況と接種予定が当初の計画どおり進んでいるか。また、2次医療圏における札幌市とのワクチン接種の連携について市の考えを伺う。
- ③市内の高齢者施設の職員と利用者、市立小中学校教職員及び保育園・保育所、幼稚園や児童クラブ等の全ての職員に優先してワクチン接種を行う考えと併せて、定期的なPCR検査を実施する考えを伺う。
- ④緊急事態宣言下で、50%以下の減収でも困難な小規模事業者や酒類を扱う飲食業以外への市独自の支援を実施する考えを伺う。
- ⑤コロナ禍において、石狩市の総合支援資金及び緊急小口資金等の特例貸付の状況と、今後の対応の考え方を伺う。
- ⑥新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金の申請に対し、協力を得られない事業主に対する市の対応について

2. ジェンダー平等の実現と男女共同、女性の地位向上について

- ①コロナ禍における生理の貧困を解消するため、生活困難な女性へ生理用品の無償配布と様々な女性の相談を受けるような環境を整備する考えを伺う。
- ②コロナ禍において子どもの権利を守るため、市内小中学校の女子トイレの個室に生理用品を設置する考えを伺う。
- ③選択的夫婦別姓の制度等の整備について、市としての考えを伺う。
- ④LGBT=性的マイノリティをはじめ多様な性のあり方への理解を図るため、国に対し早急な法整備を求める考えはないか伺う。また、専門的に相談を受けるための市の窓口を設置する考えはないか伺う。

3番 遠藤典子 議員

1. 子宮頸がん予防接種に関する適切な情報提供について

自治体は、対象者にワクチンに対する正しい情報の周知を行う役割を担っているが、今回ハガキ1枚のお知らせでは不十分であり、接種するかどうかの検討・判断ができる情報提供は、どのように行うのか。

2. 学校での更なる「がん教育」の推進について

- ①現在、小中学校で、どのようなカリキュラムで「がん教育」が進められているのか伺う。
- ②その中で外部講師がどの程度、活用されているのか伺う。
- ③「自らの健康を適切に管理する」目的からも、中学生では「がん予防」のため、自身のこととして理解を深め、家族と一緒に検診計画などを考えられる内容を組み入れることはできないか。

3. サイクリングコースの景観整備について

周遊観光の確立をめざし走行環境の整備が進められる中、景観を損ねる廃屋の撤去など整備をする考えを伺う。

4. 市民に優しいデジタル化の促進について

- ①行政に関わるデジタルサービスを活用して頂くため、活用法の講習会・出前講座を開催する考えを伺う。
- ②ホームページでのワクチン情報は、1箇所にとりまとめ見やすい工夫をする考えを伺う。
- ③公園の不具合に関し、LINE 通報システムの取り組みについて伺う。
- ④LINE での道路通報は、通報のみのシステムではなく、意思疎通のため返信が必要と思

うが、市の考えを伺う。

- ⑤「チャットボット」のワクチン情報に関し、接種状況、今後の見通しなど、市民が必要とする情報を定期的に更新すべきと思うが、市の考えを伺う。